

名称 甲賀市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度(案)

実施期間 令和6年2月20日～3月20日

意見提出者4名 4件

意見内容

| 番号 | 該当箇所 | ご意見の主旨                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ご意見に対する市の考え方                                                                                                                                                                                                         | 修正の有無 |
|----|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 1  |      | 宣誓しても、法律上の婚姻と同じ権利が与えられないなら、何のための制度なのかかわからない。親しい者だけで宣誓すれば良く、市に届け出る理由が見当たらない。自力で出来ることを行政が主導し行う意味や目的が不明瞭である。<br>対象者をLGBTQ+に限定せず、法律婚と同じ権利が与えられ、夫婦別姓を希望する夫婦も使える制度にすれば、より意味のあるものになると思う。                                                                                                                                                          | 本制度には法的効力はありませんが、性の多様性の理解が深まり、制度に寄り添った公や民間のサービスの提供など、誰もが大切な人と安心して暮らせるまちを目指しています。現状において、異性の事実婚は婚姻に準ずる一定の関係性が認められており、公的サービス等においても、性的マイノリティの方々の直面する状況とは異なっていることから本宣誓制度の対象としておりませんが、社会の変化に合わせ、よりよい制度となるよう必要な見直しを図っていきます。 | なし    |
| 2  |      | 男女関係なく、自分が本当に好きな人と一緒に生活できる事が当たり前だと思う。日本も理解を示す人が少しずつ増えているが遅れており、この制度の案が出たことは素晴らしい。もっとこのように考える方が増え、法律も変われば良いと思う。意識しなくても多様性が当たり前になる未来になって欲しいと思う。                                                                                                                                                                                              | 本制度の導入を契機に、性の多様性への理解を更に促進し、今後も継続した研修や啓発に取り組みたいと考えています。また制度導入後も当事者の方等のご意見を伺いながら、よりよい制度となるように努めてまいります。                                                                                                                 | なし    |
| 3  |      | とても良いことだが、もっと小学校低学年からLGBTQ教育を推進する必要がある。差別やいじめの解消、命の大切さを学ぶことに通じると感じる。外部の方が来て話をすることで、より分かりやすく、子どもたちの記憶や意識に残りやすくなると思う。                                                                                                                                                                                                                        | 市では「甲賀の人権教育基底プラン」を活用し、すべての校園で人権教育を推進しています。性の多様性についての教育も積極的に進めており、まずは、男は〇〇、女は…などとする無意識の思い込みへの気づきを促し合っているところです。たくさんの校園で、絵本や外部講師の講演による教育も行っております。学校や園の現状に合わせた取り組みとはなりますが、今後も性の多様性について、教育や啓発に力を入れたいと考えております。             | なし    |
| 4  |      | 宣誓制度導入に賛成する。<br>日本では、同性婚が認められず、同性パートナーがいる人には、婚姻をしている人と同等の権利がなく問題であり差別だと思う。<br>甲賀市が、行政サービスを受ける選択肢があるべきという判断で制度を導入予定することはとてもうれしい。<br>ただ、どのような権利が保障されるのか、受けられる行政サービスの内容が現時点ではっきりしないと宣誓しにくいのではないかと。<br>異性同士の結婚では自分のセクシュアリティを明らかにする必要はないが、それを守秘義務があるものの、行政にカミングアウトするので、何が保障されるのかをはっきりせずに宣誓させるのはどうか。<br>後に保障されることが増えるのはよいが、導入時点で行政サービスは明確であるべきだ。 | 制度導入に合わせ提供する行政サービスについても並行して検討しており、サービス開始時に一つでも多くの項目がご提示できるよう準備を進めています。<br>職員の守秘義務につきましては、対応する職員を限定したり、個室で対応するなどプライバシーに最大限に配慮した宣誓しやすい環境づくりに努めたいと考えております。                                                              | なし    |